

町長：機が熟したら、うるま市と協議する。



西田 治利 議員



七月に沖縄県うるま市、天願自治区のみなさんと「獅子を語る」を開催し、あわせて川祭りを開催した。町の活性化のためにも友好親善協定を結んで。

町長「他の集落との兼ね合いもありしばらくは個々の交流を深めてもらい機が熟したらうるま市との協議の場を設けたい。

高齢者を地域で支え合う仕組みづくりは。

町長「昨年度から、社会福祉協議会に「暮らし安心・地域支え合い推進事業」を委託し、地域全体で支え合う仕組みづくりを目指して

いる。

地域の課題にどのように対処するのか。

町長「課題発見のために支え合いマップを作り見守り支援や生活支援を必要とする人をもれなく把握して住民のボランティア活動により支える仕組みを構築する。

後期高齢者が増大する中、認知症や障害者など要介護に伴う発症による、老老介護の問題など、対処の連携は取れているのか。

町長「3年を1期として大きく後期高齢者保健福祉計

画と介護保険事業計画を策定して、施策を運営・実施している。来年度は第6期計画を策定。必要量の整備と、地域包括支援センターを窓口とし、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築を実現していく。

膨れ上がる国保と介護療養の給付費の財源の確保が懸念されるが、町民の負担増につながらないのか。

町長「収納対策の強化と医療費適正化を重点に財源の確保に努める。本町におい



集落毎に消火栓が老朽化、使用不可能なものがある。支障をきたさぬよう早期に対処すべきではないか。

町長「消火栓は126基設置されており、6基が使用不能になっている。今年度から5基の整備を行う。今年度も消防幹部会において消火栓の更新、新設について各分団長の意見を参考にしながら整理していく。

**議会傍聴** しませんか

傍聴は町議会活動にふれる、もっとも身近な方法です。本会議や委員会には町長をはじめ、副町長、教育長が出席していますので、どのような方針や考え方で町政が進められていくかを知ることが出来ます。

傍聴を希望される方は、当日知名町役場本庁舎議事堂の傍聴席入り口へお越し下さい。事前の申し込みは必要ありません。受付簿に住所、氏名を記入された後、傍聴席にご着席ください。また、町立図書館に定例会の議事録が配架されていますので合わせてご利用ください。